

横須賀三浦建設協会報

題 字 元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏

発行人 社団法人 横須賀三浦建設協会

理事長 櫻井 健治

印刷所

〒238-0017 横須賀市上町3-2 建設会館内

TEL (046) 822-5479 (代)

株式会社 アド・マインド



ご 挨拶

理事長 櫻井 健治



▲ 返子渚橋からの富士山

新年明けまして、おめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、会員各位、役員及び職員並びにご家族の皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は協会事業に対し格別のご厚誼にあずかり、誠に有り難う存じます。

今年の干支（えと）は癸巳（みずのとみ）、巳（蛇）年です。執念深いといわれる蛇ですが、受けた恩を忘れず助けてくれた人には恩返しを行う、といわれる巳は生命力が強く、脱皮を繰り返すことから再生のシンボルでもあります。この「巳」という文字は草木の成長が極限に達した状態を指しているといわれ新しい誕生を意味するとも謂われています。

この干支の謂われを、今年に当てはめることが出来れば、「デフレ基調」の続く建築業界に、明るい日差しが射し込む年、「再生の年」になるのではないかと期待したいものです。

一方、昨年協会のトピックスの一つは「横須賀市住宅リフォーム助成制度」が創設された事でしょうか。当初「空き家リフォーム助成制度」として6月に発足した制度でしたが、利用者が少なかったため9月から対象が拡大され「住宅リフォーム助成制度」として再発足し、応募者の抽選により70件のリフォーム事業に助成金が出る事になりましたが、果たして当協会の会員さんに仕事が廻ってきたでしょうか。本制度は、今年限りでなく向こう3年間は少なくとも継続して欲しい、と市長に申し入れしました。

もう一つは、「第1回建設フェスタ」の開催です。6月にソレイユの丘で開催したフェスタは横須賀建設業関連団体協議会の協同事業として大成功に終わりましたが、来年も継続して開催するべく関係者と話し合っておりますので、その際は、会員の皆様にご協力を頂けますようお願いいたします。

一方、仕事が入ったけど、身体の調子が今ひとつ良くないなんて事にならないよう、常日頃から健康に気を配って頂きたい、と考えます。

結びに、本年も協会発展のために粉骨砕身努力して参る所存であります。協会運営、諸事業の推進に関し、皆々様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成24年度 技能功労者等表彰

おめでとうございます！

【順不同・敬称略】

褒章

黄綬褒章 表具職 鈴木 昭一

厚生労働大臣賞

卓越技能者「現代の名工」 表具職 鈴木 昭雄

職業能力開発関係功労者 大工職 山田 広幸

神奈川県知事賞

青年優秀技能者 石工職 上田 和也

〃 骨工職 石井 洋平

県職業能力開発協会会長賞（技能検定関係） 左官職 飯田 兼久

横須賀市長賞

技能功労者 大工職 杉山 幸保

〃 〃 吉野 康雄

〃 〃 千葉 貞

〃 造園職 澁谷 茂

〃 〃 天野 久

〃 左官職 後藤 浩一

〃 〃 渡邊 広

優秀技能者 造園職 斎藤 秀之

〃 石工職 大橋 理宏

〃 〃 新倉 雅士

〃 電工職 伊東 登志彦

〃 〃 鈴木 貴幸

木建協横須賀地区労働・交通安全大会開催される！ 災防事業委員会

恒例の木建協安全大会が、10月30日(火)午後6時40分より横須賀市文化会館大ホールに505名(昨年530名)の参加者を集めて盛大に開催されました。

本大会では、主催者の千葉会長の挨拶に続き、岡部労働基準監督署長をはじめ、米田神奈川木建協会長、秋山建災防横須賀分会会長など来賓のご挨拶があった後、監督署平本安全衛生課長による安全ビデオ上映と講演「労働災害の現状と対策」がありました。

この後、小林横須賀警察署交通課長の交通安全に関する講演がありました。大会は、盛会裏に午後8時30分に終了しました。

建設協会の参加者は、111名(昨年116名)でした。参加者の皆様、そして役員の皆様大変ご苦勞様でした。当日の参加者名簿は、翌朝木建協事務局に提出しましたが、その日のうちに労働基準監督署に提出した旨報告がありました。

本大会最後に採択した安全の誓いの中で誓った「安全作業のポイント」は次の5項目です。

1. 足場先行工法の完全実施
2. 室内2階以上の作業における開口部の転落防止措置の早期実施
3. 高所(2m以上)における、安全帯・保護帽の完全着用と使用の厳守
4. 脚立・梯子等の使用時の安全確認と正しい使用
5. 木材加工用機械(丸鋸等)の刃の接触予防措置(安全カバー等)の完全使用

いずれも重要事項であり日々これらを厳守した安全作業を心掛けましょう！



第44回 技能コンクール開催

大工組合

平成24年11月3日(土)、第44回技能コンクールが今年から場所が変わり、県立産業技術短期大学校にて開催されました。

横須賀三浦建設協会から建築大工、建築左官部門より参加し、好成績を挙げました。

神奈川県知事賞

優勝 鈴木 一史 左官部門

職能協会会長賞

準優勝 乾 亮 大工部門

名工会会長賞

4位 若命 省吾 大工部門



▲ 今年度 優勝作品

手工業系技能者職場体験（インターンシップ）

大工・左官組合

神奈川県技能士会連合会（神技連）主催の工業技術系高校授業の一環として県立横須賀工業高校（木谷校長）の生徒13名に対する「大工並びに左官」の職場体験訓練事業に協力しました。

10月2日（火）午前9時、衣笠行政センター4階職業訓練校教室に生徒講師陣が勢揃いして開校式を行い櫻井理事長がご挨拶、受講に当たっての注意事項の伝達等を行った後、大工（訓練生6名）と左官（訓練生7名）のそれぞれの教室に別れ、10月5日（金）迄4日間に亘り訓練が行われました。4日間の期間中、訓練生達は生き活きと楽しそうに課題づくりに取り組みました。

訓練後、木谷校長から「貴重な体験は生徒達の進路意識の形成に必ずや役立つものと感じており、今後の指導に活かしていきたい」というお礼のメッセージが寄せられました。講師の皆様、大変ご苦勞様でした。



技能コンクールに参加して

左官組合 鈴木一史

11月3日二俣川にあります産業技術短期大学において、第44回神奈川技能フェスティバルに昨年に引き続き参加させて頂きました。今年は優勝することができました。指導にあたっていただいた技術部の館花さん、鈴木さん、激励に来ていただいた櫻井理事長、当日遠方まで来ていただいた紙谷会長をはじめとする組合の皆さん、練習の準備からお手伝い頂いた青年部の皆さん、本当にありがとうございました。

大会前日に過去の練習を見たところ、まるで別人の作品がありました。昨年から10回程の練習でここまで変わることは、個人で研究してはあり得ないことだと思いました。たくさんの方の指導・アドバイスが飛躍的に技術を革新させるのだととても驚きました。今回貴重な体験をさせて頂いた事、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



▲ 昨年度の作品

第44回技能コンクール『電気工事の部』

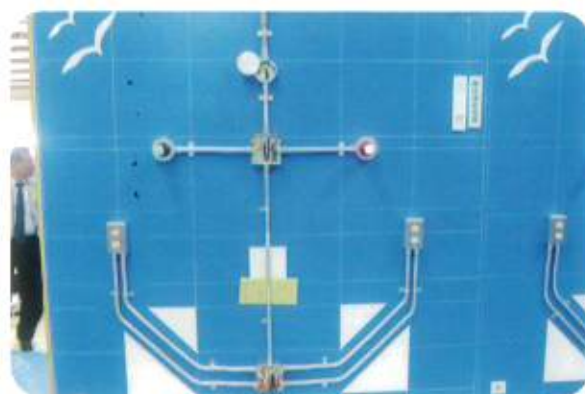
電工組合 鈴木 貴 幸

「技能コンクール」は、職種ごとに競技課題を設定し、中堅技能者が日頃鍛えた腕を競う技能競技大会であり、平成24年11月3日土曜日に二俣川運転免許試験場となりにあります、神奈川県立産業技術短期大学校西キャンパス共同訓練棟1階にて開催されました。

競技時間内に課題として与えられた『いかり』という電気工作物を電灯点滅条件および指定寸法を満たし、3種類の配線工事（ケーブル通線工事・合成樹脂製可とう電線管工事・金属管工事）が行われました。近年の電気工事では、金属管の施工が非常に少なくなっており、金属管の曲げ加工が競技者の技量を試され、その成果がそのまま順位に反映されるものでした。

今回は30歳代と思う6人の競技者が挑戦し、見事制限時間内に全員『いかり』を完成させました。

恐らく日頃の職務後に、幾度も練習して鍛えたものだと痛感しました。また、6人の競技者の作業手順が各々違っていたのが印象に残りました。



石材工場の研修旅行

石工組合 小原 直 樹

地下50メートルの坑道に入ったことはありますか？

今年の石材組合の旅行は、研修も含め福島と栃木の石産地めぐりをしました。1日目は那須から白河にかけて採掘される、芦野石と白河石（安山岩）の見学。白河は震災の時に岩山が崩落し、たまたま重機から離れていて怪我もなかったようですが、2台重機がいまだに埋もれ採掘もままならないという現状でした。

そして最初の問いかけにある、地下50メートルの坑道。これは宇都宮市で採掘されている大谷石（凝灰岩）。石の産地は大体、山を削って地上で採掘しているのですが、ここは地下。しかも、崩落などを防ぐために深さも決められ、直下に50メートル降りていき横穴を削りながらの採掘でした。石の特性もあるので、採掘の仕方にも石用のチェーンソーで切り取られています。

大谷石そのものを最近使わなくなったせいか、もうあまり埋蔵されていないというイメージがありますが、今採掘している横穴を掘りすすめて、昔の坑道につなげていくのに20年程度は石をとりながら作業していくそうです。

身近だけど知らなかったことが色々発見できた楽しい旅となりました。



「光る泥だんご」に130人 ~ものづくり体験教室に参加~ 左官組合

神奈川県左官業組合連合会は、横須賀商工会議所で神奈川県・神奈川県職業能力開発協会・神奈川県技能士会連合会が主催する「ものづくり体験教室」に参加しました。

神左連が開いた「光る泥だんご」の体験教室には、約130人の小中学生が参加しました。

当日は神左連から、実施委員の飯田兼久氏、副委員の館花猛氏と山田眞敏氏、神左連横須賀ブロックの組合員、湘南ブロック長の馬瀬秀作氏が講師を務めました。

三上誠司会長（神奈川県左官業組合連合会）は、「左官工は年々減少している。今回のような体験を通して、子供たちに左官の技術の奥深さについて興味をもってほしい。そのために、今後も意欲的に参加していく」と述べていました。



ものづくり体験教室

大工組合

8月11日土曜日、今年は横須賀商工会議所内にて開催されました。前日より加工したミニすのこ、石けん受け台、シャンプー台等準備し、当日は10時より役員総出で大勢の子供達に真剣にものを組立つくり上げる体験をしてもらい、出来上がった作品を嬉しそうに抱えて持ち帰って行きました。



よこすか産業まつり

大工組合

平成24年11月10・11の土・日曜日に三笠公園にて大工組合として産業まつりに参加しました。今年で9回の出店になり、2日間を大工組合及び組合員の活動のPRをおもな行事として大工技術、技能、ものづくり、手作りの良さを知ってもらい、子供達にミニすのこを大工さんの指導にて親子で真剣に組立てつくり上げる体験をしてもらい出来上がった作品を200円で販売。その他生板、脚立等を販売しました。



日赤衣笠分団まつり

大工組合

平成24年11月18日、日曜日赤衣笠行政センターで、横須賀市赤十字奉仕団衣笠分団主催によりバザーをはじめたくさんの催しが行われ、大勢の人で一日中賑わっていました。横須賀三浦建設協会はこの行事に協力し、大工組合が中心となり住まいの相談と児童を対象にした木工教室を開催し、本立、シャンプー台、ミニすのこ、石けん受け台など準備し、10時より役員総出で大勢の子供達に真剣にものを組立つくり上げる体験をしてもらいました。



人間ドックを受診しましょう！

建設協会では、9月に毎年横須賀市文化会館において、集団健康診断を実施しています。この集団健康診断を受診されない方のために、人間ドックの受診をご案内します。

人間ドック（婦人科コースもあり）は、横須賀三浦地区の会員のために国保組合が、次の2つの病院と提携し、安い自己負担で、健診してくれます。

このドックは、ご自分に都合の良い日程で受診できる利点があります。衣笠病院もしくは市民病院の健康管理センターで直接受け付けていますので是非、本年は人間ドックを受診してみてください。

■ 衣笠病院 健康管理センター

〒238-8588

横須賀市小矢部2-23-1

●健診コース

人間ドック…43,050円(8,610円)

婦人科コース…29,600円(5,920円)

●オプション

脳ドック(MRI・MRA)…38,850円

マンモグラフィ検査…5,775円

子宮頸がん検査…4,200円

骨粗鬆症検査(女性のみ)…3,150円

前立腺がん検査…3,780円

かく痰検査…3,570円

TEL 852-1116 ※土曜日可



■ 横須賀市立市民病院 健康管理センター

〒240-0195

横須賀市長坂1-3-2

●健診コース

人間ドック…42,000円(8,400円)

婦人科コース…23,500円(4,700円)

●オプション

脳ドック(MRI・MRA)…35,000円

マンモグラフィ検査…3,900円

子宮頸がん検査…3,400円

骨粗鬆症検査(女性のみ)…1,050円

前立腺がん検査…2,600円

かく痰検査…2,950円

TEL 858-1851



11月1日(日)、久しぶりに国保ウォーキングに参加しました。

東横線新丸子駅から六郷用水沿いに歩き、池上本門寺までの道のり、天気も日中はくもりで、歩くには快適でした。

